



声明文

世界各国の政治家たちはもはや WHO による権力掌握を 知らなかったとは言えない

WCH・2023年11月22日

12月1日の期限が近づく中、政治家たちにはまだ人々に奉仕する選択の余地が残されている

世界保健機関(WHO)に帰属する超国家的組織による権力掌握の企てについて、世界中の政治家たちはもはや無知を主張することはできません。しかし、人々の代表として奉仕することを選択することは、まだ遅くはありません。

WHOの権力掌握に関しては、専門家によるWCH政策概要(ポリシーブリーフ概要日本語*)が著名な政治家に配布されています。この政策概要は多言語に翻訳され、何千時間もの議論や専門家によるインタビューが記録されてきました。又、(英国では)請願書に署名された結果、議会で議論が行われる運びになりました。そして、一般市民による何百万通におよぶ懸念を表す文書が送られ、多くの情報が政治家に共有されてきました。にもかかわらず、世界各国の議員の大半が、緊急時にWHOが国家主権を奪ってしまうことの深刻な危険性を未だに認識できていません。

*https://worldcouncilforhealth.org/wp-content/uploads/2023/07/WHOPolicyBriefSummary_JAPANESE_V2.pdf

WHOは選挙で選ばれたものではなく、責任追及ができない、利益相反に満ちた超国家的存在です。ディストピア的な世界経済フォーラムをはじめとし、米国政府、EU政府、中国共産党、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、その他の強力な団体からただならぬ影響力を受けている組織が他ならぬWHOなのです。

2022年5月27日、第75回世界保健総会は国際保健規則(IHR)の改訂を採択しました。この改訂案を拒否または保留する期限は2023年12月1日です。改訂の2点はいずれもIHRの第59条ですが、両方とも問題含みです。というのも、一つは改訂事項の拒否期間を18ヶ月から10ヶ月に短縮するというもので、もう一つは今後改訂が生じた場合、それが施行されるまでの期間を24ヶ月から12ヶ月に短縮するというものです。

これによって実質的に今後、世界中の国民と市民社会がIHRへの変更に対応し、認識を高め、拒絶する時間と機会が大幅に減ることになります。2024年5月に採決が行われる改訂事項が仮に採択されれば、WHOにかつてないほどの権力が与えられることになり、憂慮すべき事態が生じます。実際に発生している、または発生が懸念される保健上の危機の状況において、国家そして個人の主権の深刻な侵害が懸念されます。

コロナ禍におけるWHOの対応は効果的でなかった

過去3年間、世界中の市民は行動の自由、言論の自由、取引の自由、情報の自由、健康に関する自己決定権および身体の自立性に対してありえない制限にさらされてきました。これらの制限は、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」(PHEIC)の宣言によって、WHOの指導の下に各国政府によって実施されました。

この間、WHOはその基本的な任務の効果的な遂行能力が無いことが下記の理由から判明したのです。

- 新型コロナウイルスとその病気の発生源に関し不適切な確実性をもって宣言をしたこと
- 感染致死率(IFR)に関して誤った情報を提供したこと
- ロックダウンとマスクの有効性について誤った判断を下したこと
- 今日に至るまでコロナ感染時の初期治療プロトコルを推奨していないこと
- 各国およびWHO独自のワクチン薬害把握システムに記録された、著しい数のワクチンによる副作用及び死者について調査を開始していないこと

このような重大な失敗を踏まえて、いかなる組織であれ、その能力について徹底的かつ透明性のある見直しが当然行われるべきです。しかし、WHOはその代わりに、曖昧に定義された「ワン・ヘルス」計画の下で、私たちの自由をさらに広範かつ徹底して管理するために、その権限、構造、資金を拡大しようとしています。この「ワン・ヘルス」によって、ありとあらゆる植物、動物、ヒト、そして環境がWHOの管理下に置かれてしまいます。

従って、2024年5月24日開催の世界保健総会で採択が予定されている改訂案により、WHOは以下を行うことが可能になります：

- (1) 「ワン・ヘルス」のすべての分野において、潜在的なリスクでさえも、全世界的な「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」(PHEIC)の対象として一方的に宣言できる
- (2) PHEICの対応において独占的に指揮権を主張できる
- (3) デジタルIDを用いた市民および国家に対する監視措置を実施できる
- (4) 実験的な治療を義務づけられる
- (5) PHEIC終結に関する条件を独断で決定できる

ワールドカウンシルフォーヘルス(WCH)は、各国の支部およびすべての国の一般市民を代表して、2022年5月に採択された第59条の改訂を拒否する期限が2023年12月1日に迫っていることについて、すべての議員に改めて注意を喚起します。

他の国会議員と協力し、2023年12月1日の期限までに、緊急の問題として2022年5月に採択された国際保健規則の改訂事項を拒否するよう主張する緊急書簡を、貴国の国家元首に届けることを要請します。

皆様が仕える国民の代表として、IHRの改訂を直ちに公に拒否し、それによって、素晴らしい貴国の国家主権と憲法を強化することを求めます。

“Ask not what your country can do for you, but what you can do for your country.”

John F. Kennedy, 1961

「国があなたのために何をしてくれるかを問うのではなく、あなたが国のために何ができるかを問うべきだ」

ジョン・F・ケネディ、1961年

参考資料

- 国際保健規則 The International Health Regulations (IHR):
<https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/246107/9789241580496-eng.pdf>
- 2022年5月27日に可決された IHR 改訂バージョン
https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA75/A75_ACONF7Rev1-en.pdf
- 改訂事項が可決される過程の録画:
<https://www.youtube.com/watch?v=M393lvq1650&t=466s>
- 2023年12月1日までに否決されなかった場合の IHR の改訂条項:
https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA75/A75_R12-en.pdf
- WCH 政策概要(ポリシーブリーフ)フルバージョン(英文)
<https://worldcouncilforhealth.org/policy/>